



### エスカード牛久ビル

## エスカード牛久ビルに (株)エコスが出店決定！

2月28日、牛久市と関東地方を中心にスーパーマーケットチェーンを展開している『株式会社エコス』との間で、エスカード牛久ビル1階への食料品スーパーマーケット出店に向けた基本合意が成立いたしました。

なお、出店時期につきましては、今年の5月もしくは6月を予定しています。



### 保育園の美味しいおやつ

## ブルーベリーの森 からの贈り物



2月21日、市内4公立保育園に新しいおやつが登場。「森のブルーベリーケーキ」と名付けられた牛久産ブルーベリーがたっぷり入った甘酸っぱい焼きケーキです。当日は、生産者である「女化ブルーベリーの森」の本多恭子さんも下根保育園を訪れ、子どもたちと一緒におやつを楽しみました。薄紫のケーキが配られると、みんなあっという間に完食。おかわりには長蛇の列ができました。



おいしいケーキに満面の笑み

### 8小学校区タウンミーティング

## 市民の意見を市政に反映

市民と直接対話し、協働のまちづくりを推進しようと、小学校区ごとにタウンミーティングを開催しました。区長や行政区役員合わせて152人が参加し、根本市長や市執行部とともに、市政全体の計画や各行政区の課題等について意見交換を行いました。エスカード牛久ビルや公共交通、空き家対策についての説明後、各行政区の要望や実情などについて話し合いました。



### パパといっしょにクッキング！

## お父さんと料理体験

2月25日、市保健センターで「お父さんといっしょ パパといっしょにクッキング！」が行われ、小学生と父親12組が参加しました。この企画は父親の家事・育児への積極的な参加を奨励するため、市男女共同参画推進事業の一環として行われています。お父さんたちは「これからも家で料理をする機会を持ちたい」などと話し、子どもとの調理を楽しんでいました。



手作りウィナーサンドなど4品を作りました

### 平和の集い

## 平和を見つめる一日に

3月5日、中央生涯学習センター文化ホールで「平和の集い」が開催されました。第1部では、平和使節として広島を訪問した中学生たちがそれぞれの中学校で発表した「校内平和の集い」の様子がビデオで紹介されました。第2部のタレントの山田雅人さんの話芸「かたり」は感動的で、平和について見つめ直す貴重な一日となりました。



### スノーボードの大会で優勝

## 大人にも負けず初優勝

2月9日に開催された第35回全日本スノーボード選手権関東・東北大会において、スロープスタイル一般男子の部で優勝した荻原大翔さんおぎわらひろと（向台小5年・11歳）が、2月24日、市役所を表敬訪問しました。根本市長は、「大人も出る大会で優勝という結果は本当にすごい。ダイナミックな滑りでビックリした」と驚きを語りました。荻原さんは、「初めて優勝したので、すごくうれしい。次の大会でも頑張って優勝したいです」と話しました。



3Dプロジェクションマッピング

CG映像で牛久をPR!!



3月10日・11日の2日間、牛久市初の大規模3Dプロジェクションマッピングイベント「BON APPÉTIT!～ワインの街うしく～」をシャトーカミヤにおいて開催しました。本イベントでは、コンピューターグラフィックス(CG)を使った映像を旧事務室に投影しました。映像では、河童が悠々と泳ぐ姿や、サーチライトに照らされた牛久大仏など、牛久ゆかりの映像が華々しく投影されました。2日間で約6,000人の来場者があり、参加者たちは鮮やかな映像を楽しみました。

牛久第二小学校

横綱稀勢の里関をオリジナルのぼり旗で応援!

大相撲三月場所が始まるのに合わせ、3月9日、牛久第二小学校では、横綱稀勢の里関応援のぼり旗を校門前に掲示しました。こののぼり旗は全クラスで1本ずつ作り、それぞれの学級で文言やデザインを考えました。設置した児童は、「稀勢の里関には何度も優勝してほしい。自分たちののぼり旗で横綱と牛久が盛り上げていければとてもうれしい」と話していました。のぼり旗は今後も本場所毎に掲示していく予定です。



1190号

2017年4月1日発行  
平成29年4月1日発行

発行・編集 牛久市広報政策課  
〒300-1292  
茨城県牛久市中央3丁目15番地1



▲園庭にかまどを用意してカレーライスを作りました  
▶小さなクラスのお友だちにはぞうグループのお兄さん、お姉さんが配膳をお手伝い

つつじが丘ふたばランド保育園のお友だちが楽しみにしている「カレーライスの日」。ぞうグループのお友だちが中心になり、買い物から配膳まで役割を分担し、みんなで協力をしてカレーライスを作ります。大きなお鍋で作るカレーライスの味は最高!子どもたちは「カレーライス作りは楽しい。お家でも作って



るよ」と話してくれました。